

# 2022年3月期 決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス 2022年5月

1

CEOを務めております安藤でございます。

本日は大変お忙しいところ、弊社「2022年3月期決算説明会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

それでは、資料に沿ってご説明いたします。 まずは、3ページ目、決算のポイントをご覧ください。



### 2022年3月期 決算のポイント



### 2022.3 実績

- 売上高814億円 (前期比108.8%)、営業利益415億円 (前期比114.8%)
  - 新車販売減により下取り車が減少。堅調な中古車需要により取扱台数の増加 と成約率の上昇。
  - 中古車輸出台数は、前期比117.3%。コロナ前の2019年と比べ95.0%。
  - 中古自動車等買取販売は、オークション相場が高値で推移するも買取台数が減少し、増収減益。
  - リサイクル事業は金属スクラップ相場の高値推移による売上高、粗利益増お よび解体工事の取扱い増により増収増益。

### 2023.3 業績予想

- 売上高841億円
  - 通期台数計画は、出品台数2,860千台、成約台数1,850千台、成約率64.7%
- 営業利益431億円

## **莱**績予想

- 2022.3期 1株当たり 66.2円(予定)
- 2023.3期 1株当たり 67.4円 (予想) ※23期連続増配を目指す
  - ・ 配当に関する基本方針:連結配当性向55%以上
- 株主還元
- 自己株式の取得を実施中
  - 100億円/600万株を上限に取得(4月末での進捗率 91%(金額ベース))
  - 自己株式取得終了後、自己株式は発行済株式総数の5%を残して消却 (予定)

3

本日、ご説明のポイントは、3つでございます。

1つ目は、2022年3月期の連結業績でございます。

半導体など部品不足による新車登録台数の減少により、オートオークション市場全体の出品台数は前期比95%となりましたが、新車の代替需要として中古車需要は旺盛であり、成約台数は前期比100%、成約率は68.8%、成約車両単価は高騰し、前期比115%の65万7,000円でございました。

このような市場環境の中、USSのオークション実績は、トップシェアの競争優位性を活かして、良質な中古車の出品を促進する営業政策により、出品台数は前期比102%、成約台数106%、成約率は65.4%となり、成約車両単価は市場平均を大きく引き離し、前期比118%の90万9,000円となり、連結業績は、売上高および利益項目すべてで過去最高を記録いたしました。

2つ目のポイントは、2023年3月期の連結業績予想ですが、新車供給の緩やかな改善による、中古車流通の回復を背景に、売上高は前期比103%の841億円、営業利益は前期比103%の431億円を計画しております。

### 3つ目のポイントは株主還元です。

2022年3月期の1株当たり年間配当金は、計画より利益が上振れたことで、基本方針である連結配当性向55%を基準としますと、前期から10円70銭増配の66円20銭となり、株式上場以来22期連続増配を達成します。また、2023年3月期の配当は、1円20銭増配の配当金67円40銭を予想しております。それでは、4ページから説明をさせていただきます。

### 2022年3月期 連結業績概要

USS Hand car System Solutions

- ■売上高814.8億円(前期比108.8%)、営業利益415.7億円(前期比114.8%)、親会社株主 に帰属する当期純利益297.4億円(前期比739.5%)。
- ■売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて、過去最高を記録。

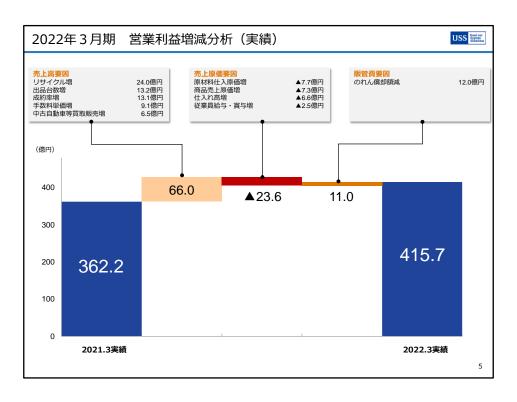
(単位:百万円)

74,874	04 400			
	81,482	108.8%	77,600	105.0%
28,341 (37.9%)	30,710 (37.7%)	108.4%	29,979 (38.6%)	102.4%
46,533 (62.1%)	50,772 (62.3%)	109.1%	47,620 (61.4%)	106.6%
10,306 (13.8%)	9,197 (11.3%)	89.2%	9,220 (11.9%)	99.8%
36,227 (48.4%)	41,574 (51.0%)	114.8%	38,400 (49.5%)	108.3%
36,996 (49.4%)	42,374 (52.0%)	114.5%	39,100 (50.4%)	108.4%
4,022 (5.4%)	29,745 (36.5%)	739.5%	26,500 (34.1%)	112.2%
	(37.9%) 46,533 (62.1%) 10,306 (13.8%) 36,227 (48.4%) 36,996 (49.4%) 4,022	(37.9%) (37.7%)   46,533 50,772   (62.1%) (62.3%)   10,306 9,197   (13.8%) (11.3%)   36,227 41,574   (48.4%) (51.0%)   36,996 42,374   (49.4%) (52.0%)   4,022 29,745	(37.9%) (37.7%) 108.4%   46,533 50,772 109.1%   (62.1%) (62.3%) 109.1%   10,306 9,197 89.2%   (13.8%) (11.3%) 89.2%   36,227 41,574 114.8%   (48.4%) (51.0%) 114.5%   49.4%) (52.0%) 114.5%   4,022 29,745 739.5%	(37.9%)     (37.7%)     108.4%     (38.6%)       46,533     50,772     109.1%     47,620       (62.1%)     (62.3%)     109.1%     61.4%)       10,306     9,197     89.2%     9,220       (13.8%)     (11.3%)     89.2%     (11.9%)       36,227     41,574     114.8%     38,400       (48.4%)     (51.0%)     114.8%     39,100       (49.4%)     (52.0%)     114.5%     39,100       (50.4%)     4,022     29,745     739,5%     26,500

ご覧のスライドは、冒頭ご説明しました2022年3月期の連結業績です。

売上高は、前期比 108%、計画比 105%の814億円 営業利益は、前期比 114%、計画比 108%の415億円 経常利益は、前期比 114%、計画比 108%の423億円 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に特別損失を計上したこともあり、 前期比 739%、計画比 112%の297億円となりました。

冒頭申し上げましたとおり、売上高および利益項目について過去最高を記録 しております。

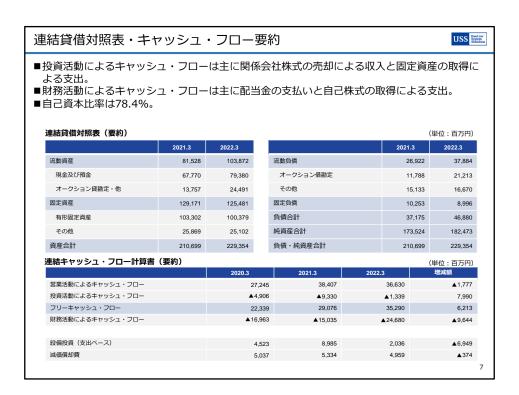


こちらは、連結営業利益の増減分析です。

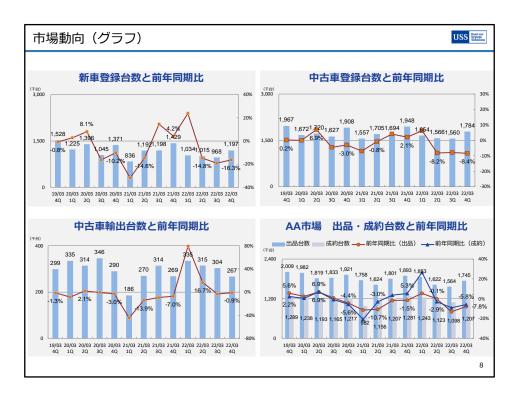
ご覧の通り、リサイクル事業の売上や出品台数が増加したことにより、営業 利益は、53億円の増益となりました。

グメント売上・利益の状況				USS
売上高	2020.3	2021.3	2022.3	(単位:百万円) 前期比
オートオークション	63,350	61,048	64,858	106.2%
中古自動車等買取販売	9,099	8,646	9,300	107.6%
その他	5,692	5,180	7,323	141.4%
合計	78,143	74,874	81,482	108.8%
営業利益(営業利益率)	2020.3	2021.3	2022.3	前期比
オートオークション	35,436 (55.6%)	35,463 (57.7%)	40,217 (61.7%)	113.4%
中古自動車等買取販売	103 (1.1%)	271 (3.1%)	136 (1.5%)	50.2%
その他	369 (6.4%)	400 (7.7%)	1,200 (16.4%)	300.1%
消去または全社	100	91	19	21.2%
合計	36,009 (46.1%)	36,227 (48.4%)	41,574 (51.0%)	114.8%

次に、セグメントごとの売上・利益についてはご覧のとおりでございます。



次に、連結貸借対照表でございますが、自己資本比率は78%と、引き続き、財務の安全性は高水準を維持しております。



ここからは、自動車流通市場の動向をご説明いたします。 なお、グラフは3か月単位ですが、4月から3月の累計を前期と比較してご説明いたします。

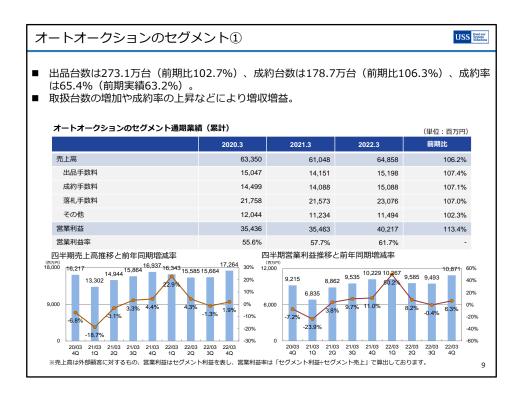
新車登録台数は、半導体不足等による新車の減産の影響があり、前期比90%の421万台となりました。

中古車登録台数は、新車の減産により下取り車等の中古車の発生が減少したことにより、前期比95%の656万台となりました。

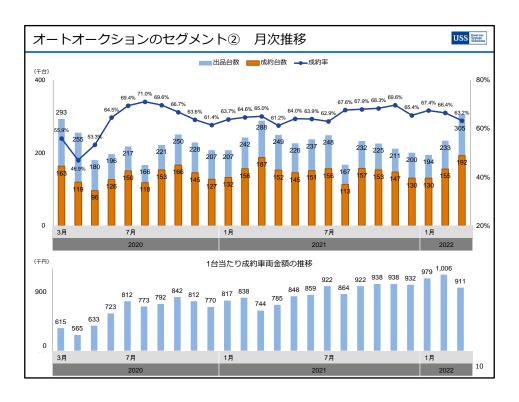
中古車需要に大きく影響する中古車輸出台数は、コロナ禍からの回復基調が 鮮明になっており、前期比117%の122万台。コロナ前の2020年3月期と比較 すると95%となりました。

ロシアは最大の仕向け先であり、年間16万台の中古車を輸出しています。 3月以降、ウクライナ情勢の関係で、ロシア向けの需要が急速に減少したと みられています。しかし、輸出業者にて、仕向地をアフリカや中東に切り替 えるなど、ロシア停滞分をカバーする動きがみられております。

この結果、オートオークション市場の出品台数は前期比95%の678万台、 成約台数は前期比100%の467万台、成約率は68.8%となりました。



ここからは、オークションのセグメントについてご説明申しあげます。

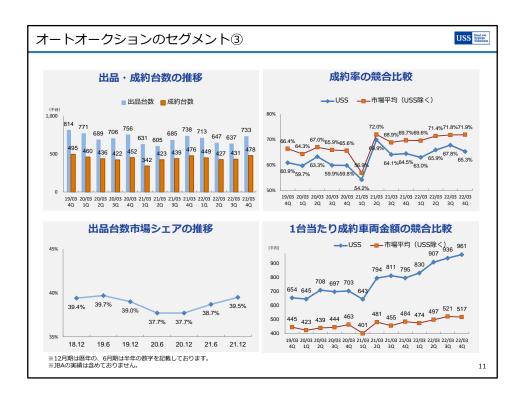


ご覧のスライドですが、上段のグラフは2020年3月から2022年3月までの、USSが開催するオークションの月次取扱台数の推移、下段は成約車両単価の月次推移です。

2020年の3月から、新型コロナウイルスの影響を受けておりましたが、出品台数、成約台数とも2020年5月で底打ちしております。

成約車両単価に目を向けますと、新車の供給不足による代替需要や、中古車輸出の回復もあり、2020年4月を底として、2022年3月まで、22か月連続で前年同月実績を上回っています。

2022年2月には初めて100万円の大台に乗りましたが、翌3月には91万円と下落しております。この下落について、ロシア・ウクライナ情勢の影響とも報道されておりますが、例年3月は、1年で最も出品台数が多く、前月の2月と比較して成約単価が下落する季節要因が大きいものと思われます。

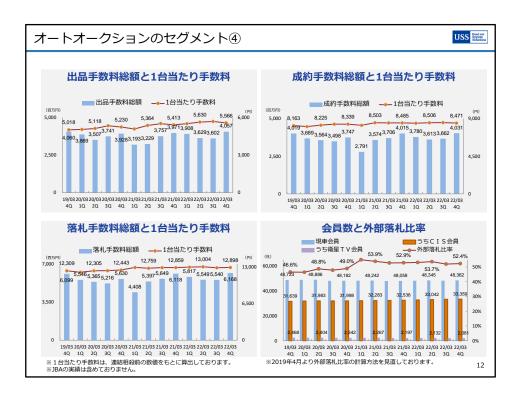


こちらのスライドはオークション実績の推移についてご説明したものです。

右下の成約車両単価の競合比較のグラフをご覧いただきますと、 2021年3月期第2四半期以降、高くなっていることがご確認いただけると思い ます。

良質な中古車がUSS会場へ集まる傾向にあり、成約車両単価は、もともと市場平均を上回っていましたが、足元の高騰する中古車相場の中で、この差がさらに開きました。

国内の小売需要が活発化する中、良質な中古車が集まる、トップシェアを活かした、USSの競争優位性が示されたものと自負しております。



次に、手数料単価の推移についてご説明いたします。 4月~3月までの累計でご説明いたします。

1台当たりの出品手数料ですが、前期比245円プラスの5,593 円となりました。 主なプラス要因としては、東京会場などで手数料単価の低いコーナーへの出 品割合が減少したことなどによるものです。

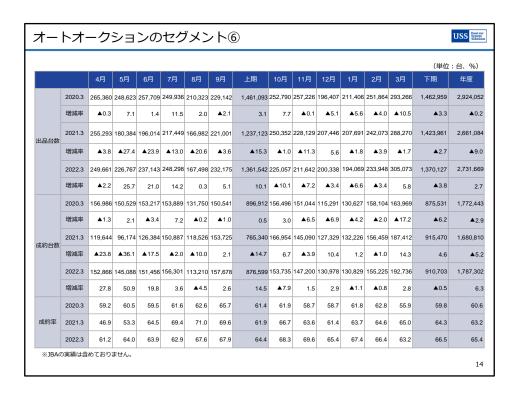
次に、1台当たりの成約手数料ですが、前期比55円プラスの8,491円となりました。主な要因としては、東京会場などで手数料単価の低いコーナーの割合が減少したことなどによるものです。

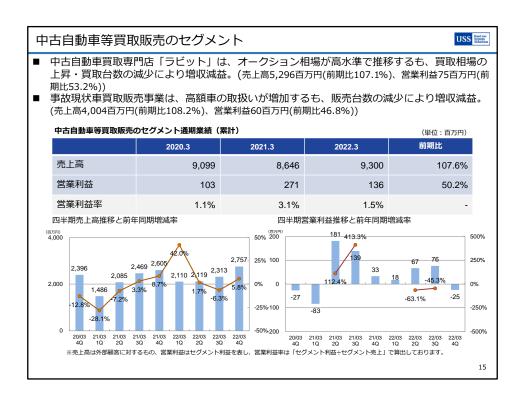
次に、1台当たりの落札手数料ですが、前期比83円プラスの12,924 円となりました。主な要因としては、東京会場などで、手数料単価の高いコーナーの割合が増加したことによるものです。

外部落札比率は、コロナ禍前と比べ、高い水準で推移しております。

次は15ページをご覧ください。

### USS System Solutions オートオークションのセグメント⑤ 2021年4月から2022年3月までの12か月間 (単位:回、台) 開催数 出品 台数 成約台数 成 約 率 2022.3 2021.3 2022.3 2021.3 前期比 2022.3 2021.3 前期比 2022.3 2021.3 東京 49 49 666,861 617,968 107.9% 459,229 418,525 109.7% 68.9% 67.7% 名古屋 49 49 453,432 442,949 102.4% 266,162 251,495 105.8% 58.7% 56.8% 九州 49 49 201,249 187,467 107.4% 132,213 114,398 115.6% 65.7% 61.0% 大阪 49 49 196,185 203,665 96.3% 113,646 110,658 102.7% 57.9% 54.3% 横浜 49 48 178,895 175,997 101.6% 121,518 115,310 105.4% 67.9% 65.5% 札幌 48 49 130,874 132,298 98.9% 93,079 90,973 102.3% 71.1% 68.8% 静岡 49 49 108,780 99,829 109.0% 67,204 62,839 106.9% 61.8% 62.9% R -名古屋 49 48 115,941 86.7% 86,660 96,276 90.0% 86.2% 83.0% 100.577 神戸 48 49 81,851 72,663 112.6% 48,244 42,697 113.0% 58.9% 58.8% 岡山 49 49 64,490 68,261 94.5% 50,556 49,648 101.8% 78.4% 72.7% 東北 37,384 48 49 52,666 50.410 104.5% 42.371 113.3% 80.5% 74.2% 群馬 49 49 51,384 52,040 98.7% 35,841 35,207 101.8% 69.8% 67.7% 新潟 48 49 48.081 47.168 101.9% 28.413 25,575 111.1% 59.1% 54.2% 埼玉 49 48 46,379 45,263 102.5% 28,565 25,675 111.3% 61.6% 56.7% 福岡 48 49 35,007 40,942 85.5% 22,476 25,379 88.6% 64.2% 62.0% 北陸 49 49 17,874 18,352 97.4% 12,863 12,963 99.2% 72.0% 70.6% JAA 48 49 72.381 73.581 98.4% 38.960 40.796 95.5% 53.8% 55.4% HAA神戸 49 49 224,703 216,290 103.9% 139,302 125,012 111.4% 62.0% 57.8% 合計 876 879 2,731,669 2,661,084 102.7% 1,787,302 1,680,810 106.3% 65.4% 63.2% ※2020年8月に発生した落雷の影響により、前期は埼玉会場でオークションを1開催休催しました。 ※JBAの実績は含めておりません。 13





ここからは、中古自動車等買取販売のセグメントについて、ご説明いたします。

ラビットですが、オークション相場が高水準で推移したものの、同業他社との価格競争による買取相場の上昇に加え、買取台数も減少しました。この結果、売上高は前期比107%の52億円、営業利益は前期比53%の7千万円と増収減益になりました。

事故現状車買取販売事業ですが、高額車両の取扱いが増加したものの、販売台数が減少しました。この結果、売上高は前期比108%の40億円、営業利益は前期比46%の6千万円と増収減益になりました。



次に、その他のセグメントについて、ご説明いたします。

リサイクル事業は、金属スクラップ相場が高値圏で推移したことによる売上、 粗利益の増加に加え、2019年に設立した株式会社SMARTでの解体工事の取 扱いが増加しました。

この結果、その他の事業の売上高は前期比141%の73億円、営業利益は前期実績の4億円から12億円と、大幅な増収増益になりました。





ここからは、通期業績予想についてご説明いたします。

当社は会員の利便性向上を図るなど会員向けサービスを強化することにより 出品台数を確保し、オートオークション業界におけるシェア向上を目指しま す。

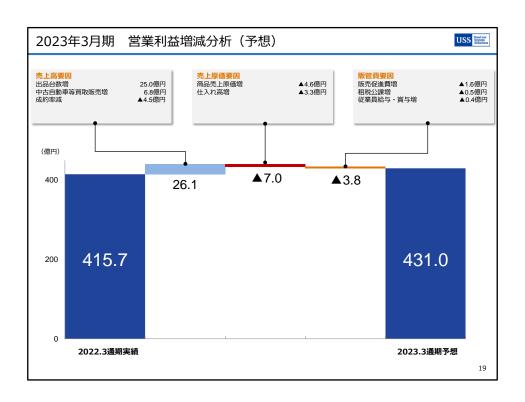
会員の利便性向上の一環で、東京会場での、オークション開催日は来客駐車場、平日は、屋内型の車両検査エリアとして利用する立体駐車場を建築いたします。稼働は2023年1月を予定しております。

### 2023年3月期の業績予想は

売上高は、前期比 103%の841億円 営業利益は、前期比 103%の431億円 経常利益は、前期比 103%の438億円

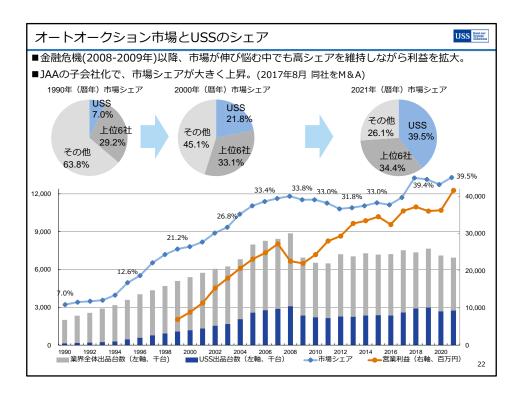
親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比 100%の300億円を計画しております。

次は、22ページをご覧ください。



### USS Hand car System Solutions 2023年3月期 セグメント別売上予想 (単位:百万円) 2021.3(実績) 2022.3(実績) 2023.3(計画) 前期比 売上高 オートオークション 61,048 64,858 67,035 103.4% 中古自動車等買取販売 9,300 9,989 107.4% 8,646 その他 5,180 7,323 7,074 96.6% 合計 74,874 81,482 84,100 103.2% 営業利益 (売上比) 36,227 41,574 43,100 103.7% (51.2%) (48.4%) (51.0%) 20

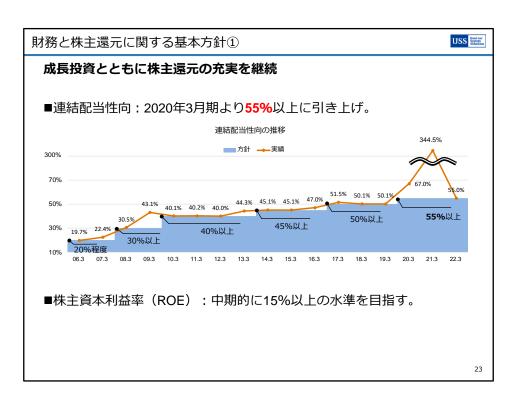




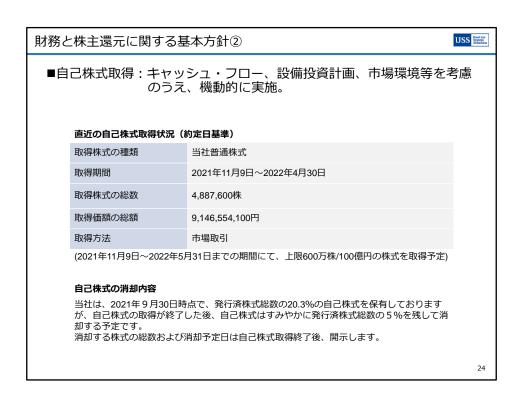
ここからは市場環境と中期的な取り組みについてご説明いたします。まず、1990年から現在に至るまでの市場シェアの推移でございます。

長期で見ますと、USSの市場シェアは、堅調に成長してきたことがご理解 いただけると思います。

自動車業界は、100年に一度の変革期と言われておりますが、USSは、電気自動車、自動運転の普及などにも対応し、更に市場シェアを拡大することで、安定成長していきたいと考えております。

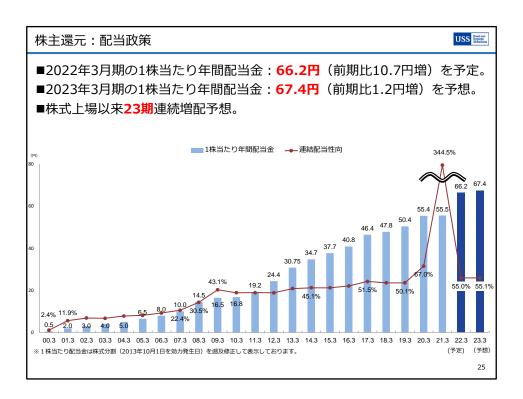


今後の株主還元に関する基本方針についてご説明します。 先ず、配当に関する基本方針ですが、これまで連結配当性向の数値を掲げ、 段階的に引上げを行っており、2020年3月期からは55%以上としております。



次に、現在、600万株、100億円を上限として自己株式の取得しております。 4月末で、488万株、91億円の取得が完了しております。

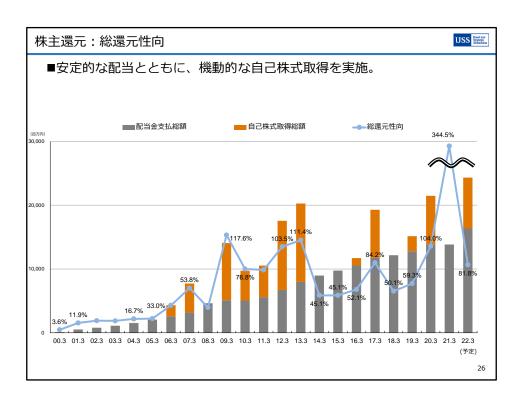
また、自己株式の取得が終了したのちに、発行済株式総数の5%を残して消却する予定であり、具体的な内容は、改めて適時開示でお知らせいたします。



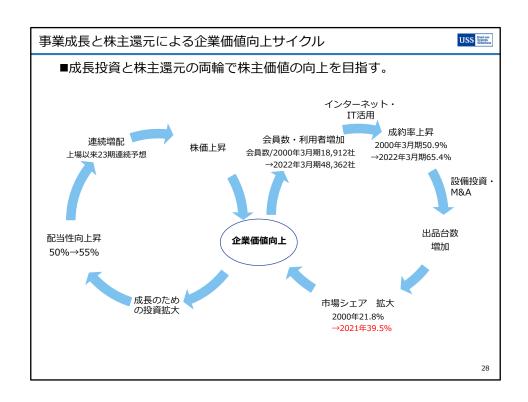
こちらのスライドは、株式上場以来の配当の推移でございます。 2022年3月期の1株当たり配当金は、前期から10円70銭増配の66円20銭を予 定しております。これで、22期連続増配となります。

2023年3月期の年間配当は、前期から1円20銭増配の1株当たり67円40銭を計画しており、23期連続増配を目指してまいります。

次は29ページをご覧ください。







### 気候変動についての対応



- TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) に沿った開示を2022年6月に予定。
  - Scope1、2、3のCO2排出量の算定および中期的なCO2排出量削減目標を 開示予定
    - ※ Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)、Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出、Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)
- 具体的な取組み
  - オークション会場内に再生可能エネルギー(太陽光発電)導入の推進
- 2022年5月10日開催の取締役会にて役員報酬の評価指数に「ESG外部評価\*」を 導入することを決議。※「ESG外部評価機関 (MSCIおよびCDP) の格付け」を採用。
- 国際的な環境非営利団体であるCDPが実施する企業調査において、 「気候変動」の分野で「C」評価を獲得。



当社のESGの方針や取組みは、2021年9月発行の統合報告をご覧ください。

2021年度 統合報告書 <a href="https://www.ussnet.co.jp/ir/library/annual/">https://www.ussnet.co.jp/ir/library/annual/</a>

29

最後に、気候変動への対応でございますが、6月提出のコーポレートガバナンス報告書にて要請されているTCFDに沿った開示を予定しております。

また、CO2削減の具体的な取組みとして、オークション会場内に太陽光発電の導入を予定しています。今年度は、名古屋会場とR名古屋会場のオークション会場の屋根に太陽光発電設備を導入し、購入する電力は、全てCO2フリー電力に切替る予定です。

さらに、適時開示しましたとおり、役員報酬制度を改訂いたしますが、業績連動株式報酬の評価係数に、ESG外部評価を導入いたしました。

今後とも、サスティナビリティに対して真摯に向き合ってまいりたいと考えております。

USS Uland car System Schuttores

### IRに関するお問い合わせ -

株式会社ユー・エス・エス 統括本部 総務部

電話 : 052-689-1129

E-mail: irinfo@ussnet.co.jp

### <注意事項>

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に 関する記載は、本資料の発表日現在における将 来の見通し、計画の基となる前提や予測を含ん でおり、当社としてその実現を約束する趣旨の ものではありません。実際の業績は、今後様々 な要因によって、大きく異なる結果となる可能 性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨て して表示しております。
- ・ 本資料の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五 入して表示しております。

出所

(一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会、(株) ユーストカー、財務省貿易統計

30

私からの説明は以上となります。

このあと、質疑応答の時間がございますので、よろしくお願いいたします。

本日は、ご清聴いただき、誠にありがとうございました。

	USS Used car System Solutions
ご参考	
	31

